回 答 書

受付番号	回収年月日	回収場所	担当主管課
第 10 号	平成26年5月30日	伊予市役所	議会事務局
題 目（テーマ）：議会と市民の協働についての具体的な一案			
提 案 内 容（要旨）			
<p>視察研修費を議員の任期4年間ないしは常任委員会委員の2年間の任期で調整する（ある年度は多く、ある年度は少なく）ことで、全体としての視察研修費を削減し、未来への投資（子育て支援等）に回していただければと思います。</p> <p>4年任期の最終年度は視察研修の成果を任期中に生かすことができないのですから、最終年度の視察研修費をゼロとした方がいいのではないのでしょうか。</p> <p>「行政と市民との協働」は意識されていますが、「議会と市民との協働」はあまり意識されていません。行政視察の成果発表を市民の前で行っていただきたいと思います。本会議で行っているとされるのですが、何日の何時にどのような視察についての発表が行われるのかがはっきりしないので、かなり暇な市民でなければお付き合いできません。何月何日何時から何時まで、「〇〇市での〇〇の施策についての視察」という予告がなければ、市民が日程を遣り繰りして参加することは不可能です。</p> <p>「議会と市民との協働」については、さらに考察したいと思っております。</p>			
回 答 内 容			
<p>提案書の題目（テーマ）としては2点記載されておりましたが、「市議会と視察研修費削減の提案」につきましては、受付番号第7号の方でまとめて回答させていただいておりますので、ここでは省略させていただきます。ご了解願います。</p> <p>さて、標記については、議会各委員会視察研修報告会の開催日時等の市民への事前周知ということですが、現在、視察研修報告会は定例会終了後の全員協議会にて実施しております。</p> <p>もちろん、各委員会で研修の実施時期が異なっておりますので、一度に報告会をすることは無理かと思いますが、「議会だより」への記事掲載による事前周知は可能と思いますので、その方向で検討させていただきます。</p> <p>以上、回答いたします。貴重なご提案、ありがとうございました。</p>			